

午後 試験

問 1

出題趣旨

経営環境の変化に伴い、非効率になっている業務運用を改善するためには、業務の見直しを実施し、新しい業務プロセスの機能要件を明確にした上で、現在の情報システムの機能のどこに問題が存在するかを分析し、情報システムの機能の追加や変更、又は新たな情報システムの導入を検討する必要がある。

本問は、システム利用部門として、非効率になっている現行の業務プロセスを見直し、明確になった新しい業務プロセスの機能要件を実現するため、現行の情報システムをどのように分析し、対策を講じたかの具体的な論述を求めている。論述を通じて、上級システムアドミニストレータに求められる、受験者の経験に裏打ちされた分析能力、改善策立案能力、問題解決に向けた主体性などを評価する。

問 2

出題趣旨

安い海外製品の国内流入、消費者のインターネットを活用した製品情報比較によって、国内の企業は品質だけでなく価格競争力をつけないと成長を維持していくことが困難である。コストを低減し、収益力を上げ、価格競争力をつけることは、企業にとって重要な課題である。

本問は、利用部門において、現状のコスト構造を把握して、売上データとコストに関するデータをどのように分析し、コスト低減策を立案したか、その実行のための提言について具体的な論述を求めている。データ活用を伴わないコスト低減策やシステム導入だけの論述は、出題趣旨にそぐわない。論述を通じて、上級システムアドミニストレータに求められる、受験者の経験に裏打ちされたデータ活用能力、分析能力、改善策立案能力、経営に向けて提言を行う主体性などを評価する。

問 3

出題趣旨

社内外の多くの人間が利用したり、関係したりする情報システムでトラブルが発生すると、ビジネス上非常に深刻な被害を引き起こすことがある。情報システムの安定稼働に向け、利用部門として情報システムの構築段階から主体的にかかわり、万全な対策を講じていく必要がある。

本問は、こうしたトラブル対策について予防策に加え、発生時の対処や緊急体制、代替案など、自らの経験を基にした、情報システム構築段階からの取り組み内容の具体的な論述を求めている。論述を通じて、本番稼働状況を踏まえての対策に対する評価や改善なども含めた一連の活動における、上級システムアドミニストレータに求められる分析能力、洞察力、改善策立案能力などを評価する。